1-1

タクティールケア

タクティールケアの実践と成果

特別養護老人ホーム みどりの郷 福楽園

職種・発表者の介護職・相墨の欽章	共同研究者の機能訓練士・高橋の篁
所在地 東京都江戸川区臨海町 1-4-4	共同研究者

TEL: 5659-4122	E-mail: kodo_1026@yahoo.co.jp
FAX:	URL:

今回の発表の施設 またはサービスの 概要 10p 西側に荒川・富士山、南に葛西臨海公園の観覧車が望められ、緑化環境の整った地域に当施設は立地しています。

入居者様がゆったりとした生活が出切るようにユニットケアを導入しています。

〈取り組んだ課題〉

- タクティールケアが認知症の周辺症状からくる不穏行動の軽減に役立てられないか。
- ターミナルケアの対象の方や会話によるコミュニケーションを図ることが難しい方に対して、コミュニケーションを図る一端として役立てられないか。(日常において、コミュニケーションを図る機会が少ない為)

〈活動の成果と評価〉

- ターミナルの方やコミュニケーションを図ることが 難しい方からは、ケア中に笑顔を見せて下さり、リ ラックスしている様子が伺えた。
- 認知症の周辺症状の不穏行動の軽減には成果が現れ たかは証拠不十分で、立証出来ず。

〈今後の課題〉

・人手不足の現場では、このケアの提供時間を確保する ことが難しいかもしれないが、月に一度ではなく、毎 日提供することが望ましい。

〈具体的な取り組み〉

- 月に一度、一回に15分程度、タクティールケアを 行う。
- 独自の評価表にてケア中、及びその前後の様子を評価する。
- 認知症の周辺症状からくる不穏行動の軽減を目的とする方は、2名を対象とする。
- ターミナルやコミュニケーションを図ることが難しい方は、5名を対象とする。

〈参考資料など〉

日本スウェーデン福祉研究所の認知症緩和ケアとタク ティールケアの講座